

記者の目
 4月に入り、入社式を行う企業も多いただろう。新卒や中途を問わず、社員を採用する方法は近年多様化しつつある。取材先の不動産関連会社に行ったときに多いと感じるのが「リファラル採用」。自社の社員が知人らに声をかけて、会社に紹介する採用方法だ。コストが

抑えられるメリットもあるという。また、ある会社では、職種ごとに人材を募集するのではなく、求職者の意向や将来設計などをヒアリング。職種や契約形態等を企業側から提案する形の採用を取り入れ、10人弱の採用実績がある。さまざまな切り口で自社の求める有能な人材を獲得する採用方法が人手不足の今、必要だ。

2023年
4・3
 No. 1551
 毎週月曜日発行

週刊 **全国賃貸住宅新聞**

発行所 株式会社全国賃貸住宅新聞社 東京都中央区銀座8-12-15 [支局]大阪
 http://zenchin.com
 TEL03(3543)6494(代表)・03(3543)6761(編集部) 発行人 加賀光次郎(毎週月曜日発行) 年間購読料19,800円

不動産事業で社会問題解決

クローズアップ

国が賞を創設、11社を表彰

国土交通省は3月14日、「第1回地域価値を共創する不動産業アワード」の表彰式を行った。地域関係者と連携した地域課題の解決に向けた取り組みを、不動産事業者から募集。1回目となる今回は全国から97件の応募があり、10件11社が表彰された。



▶第1回地域価値を共創する不動産業アワード受賞者集合写真

「担い手育成部門」では一般社団法人全国古家再生推進協議会(大阪府東大阪市)の「『あなただけの投資で社会が良くなる』空き家(古家)の再生で『四方よし』ビジネスを全国に広める活動」が受賞。工務店と投資家に向けて、両者が同じ知識を習得する環境を整備し、資格制度を創出した。

「特別賞3件選出」空き家・空き地相談窓口」の設置や行政区分にとらわれない活動が高評価された、ありあけ不動産ネット協同組合(福岡県大牟田市)が特別賞を受賞。川添健一理事長は「地域をよくしたい」という思いでやってきた。空き家予防活動のため公民館の館長や民生委員と連携していく」とコメントした。

「三好不動産(福岡市)」は「誰一人取り残さない社会へ『場の提供者』として地域に住まう方のお困りごと支援、及びお困りの『場』へ学生ボランティアと共に赴き災害復旧復興支援、こども食堂支援」で受賞。三好修社長は「行政や異業種と共創できる場を提供していきたい」と話した。千島土地(大阪市)は所有する遊休不動産を活用しアートを軸にした、まちづくりを実施する「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想」創造的なまちづくりへの挑戦」で選出された。(館野)

部門別6件が受賞
 「低未利用不動産の有効活用部門」では、暇と梅爺(東京都墨田区)の「すみだ八島花(やつし

ION(リノベーション)」を活用した空き家・遊休不動産の再生」が選ばれた。空き家活用のための資金調達において、地方公共団体や地元金融機関と連携し、まちづくりファンドを導入した。今回の受賞にあたり福田和則社長は「共創パートナーの枠を広げて、ステークホルダーをより多く巻き込みたい」と話した。

「居住・生活支援部門」はエステートイノウエ(岡山県倉敷市)の「地域共生で笑顔になれる住まいの支援」。主に住宅確保要配慮者に対する物件探しの支援や、物件売買の際に物件内に残った物品のうち、需要がある品物を社会福祉法人へ寄付をしている。

「中心市街地・農村活性化部門」では、まちづくりエイトイブ(千葉県松戸市)の「MAD CITY(マッドシティ)プロジェクト」が選出。クリエイティブな自治区をつくるという思いの下、サブリース型の不動産サービスや起業支援、都市再生コンサルティンクなどを行う。寺井元一社長は「グローバルな視点で自治区を目指すまちづくりを進めたい」と話した。

CREDIT SAISON **セゾンの不動産フリーローン**

お持ちの不動産を担保に
 自由に使える資金を
 調達いたします。

不動産投資に	リフォームに	アート購入に	相続時の資金に

最短2週間で資金のお借り入れが可能です。

その他事業性資金などにもご活用いただけます。まずはお問い合わせください。

お問い合わせ先 **株式会社 クレディセゾン** 不動産フリーローンデスク **0120-327-789** 詳細はこちら

(10:00~17:00 土・日・祝・年末年始休み)